※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和８年度　工業科（生活デザイン系列）

教科	工業	科目	実習Ｂ（ＡＤ）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本実習は、２学年までに学習した基礎的な技術を応用して工業製品（生活用品）に関する製作課題に取り組む。

日常から生活に密着した工業製品､デザイン作品をよく観察してどのように計画されているか考える習慣を身につけましょう｡また自分が制作する立場で作業過程について自分で考えてみましょう。

今までに学んだ製作技術や材料についての知識を土台に自ら考えた作品を作ることを目標にします。また専門に関する座学で学んだことを活用して学習の効果を高めるよう工夫しましょう。

２　学習の到達目標

- デザインに関する幅広い創作活動に関心を持ち様々な技法を身につける。生活の中にある製品やデザイン作品の意味を理解していろんな表現方法について学習するようにする。
- 実習課題では工業製品やデザイン作品を参考に作業工程をたてて作品を製作する。身近な生活のなかで使用する工業製品やデザイン作品､インテリアに関心を持ち課題製作に必要な技術と作業計画する力を養う。課題作成を通じて計画したことを表現し他者に伝える力を養う。
- 自らデザインした作品を作る工程を立案し製作技術を習得する。生徒が計画案を考え製作過程で生じる問題解決のため思考・判断できる力を養う。また、作成した課題作品について作業過程や完成度について振り返りを行う態度を養う。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	デザインやインテリアに関する知識があり課題作品の中で表現・作成する技術を身につける。 環境に配慮し、工業デザイン、インテリアに関するものづくりを合理的に計画し、作成する技能を適切に活用することができる。	これまでに身につけた基本的な知識と技術を応用して適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付ける。 課題の問題点を解決できること、解決の過程や結果を総合的に思考し判断することができる。 実習を通して現代社会における工業デザインの意義や役割を理解できる。	実用性のある工業製品やインテリア作品を表現するために主体的に取り組む意欲を持ち実践的な態度を身に付けようとしている。 実習課題に対して主体的に興味・関心を持ち主体的に取り組む姿勢をみる。問題解決の過程を振り返り考察を深め評価・改善しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
通年	作品の理解・実習課題	○デザイン製品についてリサーチする ○課題制作 ・色彩実習 ・デザイン材料実習 ・平面表現 ・平面課題	a:生活デザインに関連する事柄について研究し知識を深める。作品製作に必要な基本的な技術を身につける。 b:各作業に応じて適当な用具を選択し、作品を製作する方法について思考・判断ができる。製作過程を通して工業生産システムについて思考をめぐらす。作品製作するにあたり自分の考えを表現して他者に伝えることができる。 c:工業デザインについて主体的に興味・関心を持ち，実習の作業に意欲的に取り組むことができる。作業を振り返り問題点を改善しながら課題に取り組もうとしている。	作品の完成度 実習態度	作品の完成度 観察	実習態度 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度